

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 石川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	こころの病院	3
金沢市	市立病院	4
七尾市	公立能登総合病院	5
小松市	小松市民病院	6
輪島市	市立輪島病院	7
珠洲市	珠洲市総合病院	8
加賀市	加賀市医療センター	9
能美市	国民健康保険能美市立病院	10
津幡町	公立河北中央病院	11
志賀町	富来病院	12
宝達志水町	町立宝達志水病院	13
穴水町	公立穴水総合病院	14
能登町	公立宇出津総合病院	15
羽咋郡市広域圏事務組合 (事業会計分)	公立羽咋病院	16
白山石川医療企業団	公立松任石川中央病院	17
白山石川医療企業団	公立つるぎ病院	18

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名					
病院名 中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,469 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	628	59.2	54.8	59.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	630	59.0	54.6	59.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.8	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,132,526	
決算規模(千円)	623,877,954	
標準財政規模(千円)	312,075,840	
財政力指数	0.48495	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	198.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,242,533			
1 経常収益	23,581,212			
(1) 医業収益	21,440,013			
(うち修正医業収益)	21,057,507			
入院収益	13,133,588			
外来収益	7,619,646			
診療収入計	20,753,234			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	686,779			
(うち他会計負担金)	382,506			
(2) 医業外収益	2,141,199			
(うち国・都道府県補助金)	66,151			
(うち他会計補助・負担金)	391,891			
(うち長期前受金戻入)	1,493,838			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,661,321			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,688,007			
2 経常費用	24,656,007			
(1) 医業費用	23,292,104			
職員給与費	9,839,973	45.9	59.4	52.8
材料費	7,890,095	36.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	5,154,922	24.0	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,608,660	12.2	11.8	13.9
減価償却費	2,660,195	12.4	8.7	7.7
経費	2,818,688	13.1	22.1	18.0
(うち委託料)	1,332,060	6.2	11.7	10.7
研究研修費	51,719			
資産減耗費	31,434			
(2) 医業外費用	1,363,903			
(うち支払利息)	10,645	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	32,000			
損益	1,554,526			
純損益	-1,074,795			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.6		103.3	102.8
医業収支比率	92.0		85.5	90.3
修正医業収支比率	90.4		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	3.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	92.5		91.9	95.1

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	66,057,863
1 固定資産	43,462,046
(1) 有形固定資産	40,767,564
(2) 無形固定資産	1,720
(3) 投資その他の資産	2,692,762
2 流動資産	22,595,817
(1) 現金及び預金	16,912,694
(2) 未収金及び未収収益	5,832,406
(3) 貸倒引当金()	354,129
(4) 貯蔵品	196,730
3 繰延資産	-
負債合計	49,679,219
1 固定負債	39,894,762
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,178,313
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,716,449
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	7,228,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,720,633
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,490,000
(5) 引当金	721,282
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,202,966
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,556,054
(1) 長期前受金	15,717,364
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,161,310
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	16,378,644
1 資本金	11,482,953
2 剰余金	4,895,691
(1) 資本剰余金	2,000
(2) 利益剰余金	4,893,691
負債・資本合計	66,057,863
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	749,054	774,397
資本勘定繰入	1,669,488	1,663,588
計	2,418,542	2,437,985

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			石川県
市町村・組合名			
病院名	こころの病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	25,245 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	82.9	86.8	86.7
感染症	-	-	-	-
計	400	82.9	86.8	86.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,132,526	
決算規模(千円)	623,877,954	
標準財政規模(千円)	312,075,840	
財政力指数	0.48495	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	198.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,375,931			
1 経常収益	3,375,931			
(1) 医業収益	2,315,921			
(うち修正医業収益)	2,315,492			
入院収益	2,039,774			
外来収益	252,849			
診療収入計	2,292,623			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	23,298			
(うち他会計負担金)	429			
(2) 医業外収益	1,060,010			
(うち国・都道府県補助金)	20,806			
(うち他会計補助・負担金)	876,679			
(うち長期前受金戻入)	138,278			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,365,657			
2 経常費用	3,362,536			
(1) 医業費用	3,242,502			
職員給与費	2,171,796	93.8	59.4	105.1
材料費	317,620	13.7	26.1	9.8
(うち薬品費)	161,907	7.0	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,427	2.1	11.8	1.6
減価償却費	245,367	10.6	8.7	12.8
経費	499,285	21.6	22.1	35.3
(うち委託料)	209,819	9.1	11.7	17.0
研究研修費	3,152			
資産減耗費	5,282			
(2) 医業外費用	120,034			
(うち支払利息)	23,177	1.0	1.0	2.4
(3) 特別損失	3,121			
損益	13,395			
純損益	10,274			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		103.3	101.8
医業収支比率	71.4		85.5	61.1
修正医業収支比率	71.4		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	37.9		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	26.0		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	74.3		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	66,057,863
1 固定資産	43,462,046
(1) 有形固定資産	40,767,564
(2) 無形固定資産	1,720
(3) 投資その他の資産	2,692,762
2 流動資産	22,595,817
(1) 現金及び預金	16,912,694
(2) 未収金及び未収収益	5,832,406
(3) 貸倒引当金()	354,129
(4) 貯蔵品	196,730
3 繰延資産	-
負債合計	49,679,219
1 固定負債	39,894,762
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,178,313
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,716,449
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	7,228,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,720,633
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,490,000
(5) 引当金	721,282
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,202,966
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,556,054
(1) 長期前受金	15,717,364
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,161,310
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	16,378,644
1 資本金	11,482,953
2 剰余金	4,895,691
(1) 資本剰余金	2,000
(2) 利益剰余金	4,893,691
負債・資本合計	66,057,863
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	874,122	877,108
資本勘定繰入	188,131	176,031
計	1,062,253	1,053,139

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	金沢市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,233 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	275	59.7	66.8	68.5
療養	-	-	-	-
結核	25	22.4	26.2	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	83.2
計	306	55.4	62.2	63.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.2	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	463,254	
決算規模(千円)	237,252,022	
標準財政規模(千円)	104,780,838	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	23.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,209,084			
1 経常収益	6,209,084			
(1) 医業収益	4,531,597			
(うち修正医業収益)	4,322,614			
入院収益	3,018,095			
外来収益	1,159,470			
診療収入計	4,177,565			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	354,032			
(うち他会計負担金)	208,983			
(2) 医業外収益	1,677,487			
(うち国・都道府県補助金)	1,293,622			
(うち他会計補助・負担金)	167,623			
(うち長期前受金戻入)	176,218			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,792,156			
2 経常費用	5,792,156			
(1) 医業費用	5,551,050			
職員給与費	3,218,079	71.0	59.4	59.0
材料費	948,321	20.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	432,982	9.6	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	509,115	11.2	11.8	11.2
減価償却費	309,577	6.8	8.7	8.6
経費	1,056,192	23.3	22.1	21.3
(うち委託料)	546,921	12.1	11.7	11.6
研究研修費	15,768			
資産減耗費	3,113			
(2) 医業外費用	241,106			
(うち支払利息)	10,060	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	416,928			
純損益	416,928			
累積欠損金	606,969			
経常収支比率	107.2		103.3	104.8
医業収支比率	81.6		85.5	87.0
修正医業収支比率	77.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.7		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,056,837
1 固定資産	5,216,322
(1) 有形固定資産	4,973,120
(2) 無形固定資産	92,032
(3) 投資その他の資産	151,170
2 流動資産	6,840,515
(1) 現金及び預金	5,550,328
(2) 未収金及び未収収益	1,301,974
(3) 貸倒引当金()	34,313
(4) 貯蔵品	22,526
3 繰延資産	-
負債合計	5,029,291
1 固定負債	3,295,960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,511,550
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,770,914
(7) 一ス債務	13,496
2 流動負債	1,156,882
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	302,717
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	242,089
(6) リ一ス債務	2,892
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	586,012
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	576,449
(1) 長期前受金	3,846,304
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,269,855
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,027,546
1 資本金	7,070,360
2 剰余金	-42,814
(1) 資本剰余金	564,155
(2) 利益剰余金	-606,969
負債・資本合計	12,056,837
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	366,297	376,606
資本勘定繰入	187,229	210,809
計	553,526	587,415

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	七尾市				
病院名	公立能登総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	38,640 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	330	76.4	77.5	74.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	27.8	29.4	31.2
感染症	4	4.0	2.8	7.8
計	434	64.5	65.8	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.0	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	50,300	
決算規模(千円)	37,975,170	
標準財政規模(千円)	17,913,413	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	68.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,210,770			
1 経常収益	10,206,207			
(1) 医業収益	8,254,462			
(うち修正医業収益)	8,045,556			
入院収益	5,165,579			
外来収益	2,587,947			
診療収入計	7,753,526			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	500,936			
(うち他会計負担金)	208,906			
(2) 医業外収益	1,951,745			
(うち国・都道府県補助金)	944,875			
(うち他会計補助・負担金)	645,639			
(うち長期前受金戻入)	231,914			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,563			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,624,258			
2 経常費用	8,571,846			
(1) 医業費用	8,178,043			
職員給与費	4,779,675	57.9	59.4	57.2
材料費	1,447,083	17.5	26.1	28.0
(うち薬品費)	665,265	8.1	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	705,681	8.5	11.8	12.7
減価償却費	391,145	4.7	8.7	8.0
経費	1,540,356	18.7	22.1	19.0
(うち委託料)	833,977	10.1	11.7	10.0
研究研修費	12,846			
資産減耗費	6,938			
(2) 医業外費用	393,803			
(うち支払利息)	104,780	1.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	52,412			
損益	1,634,361			
純損益	1,586,512			
累積欠損金	-			
経常収支比率	119.1		103.3	103.2
医業収支比率	100.9		85.5	88.6
修正医業収支比率	98.4		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	8.4		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	109.1		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,087,537
1 固定資産	8,873,605
(1) 有形固定資産	8,811,491
(2) 無形固定資産	3,583
(3) 投資その他の資産	58,531
2 流動資産	10,213,932
(1) 現金及び預金	8,134,608
(2) 未収金及び未収収益	2,059,822
(3) 貸倒引当金()	6,936
(4) 貯蔵品	26,438
3 繰延資産	-
負債合計	9,530,216
1 固定負債	5,924,760
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,346,043
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,578,717
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,875,919
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	937,896
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	302,306
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	575,947
(9) 前受金及び前受収益	800
3 繰延収益	1,729,537
(1) 長期前受金	5,323,629
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,594,092
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,557,321
1 資本金	2,820,875
2 剰余金	6,736,446
(1) 資本剰余金	464,256
(2) 利益剰余金	6,272,190
負債・資本合計	19,087,537
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,031,274	854,545
資本勘定繰入	602,875	356,603
計	1,634,149	1,211,148

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	小松市				
病院名	小松市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	31,219 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	67.4	65.1	68.9
療養	-	-	-	-
結核	10	32.1	22.5	33.3
精神	26	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	340	60.4	58.1	61.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	13.1	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	106,216	
決算規模(千円)	54,093,573	
標準財政規模(千円)	26,880,394	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	112.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,088,316			
1 経常収益	10,088,316			
(1) 医業収益	7,809,152			
(うち修正医業収益)	7,709,526			
入院収益	4,653,956			
外来収益	2,852,416			
診療収入計	7,506,372			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	302,780			
(うち他会計負担金)	99,626			
(2) 医業外収益	2,279,164			
(うち国・都道府県補助金)	1,632,004			
(うち他会計補助・負担金)	201,949			
(うち長期前受金戻入)	345,969			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,290,281			
2 経常費用	9,290,281			
(1) 医業費用	8,835,842			
職員給与費	4,326,008	55.4	59.4	59.0
材料費	2,438,140	31.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,182,692	15.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,202,408	15.4	11.8	11.2
減価償却費	653,510	8.4	8.7	8.6
経費	1,384,192	17.7	22.1	21.3
(うち委託料)	798,502	10.2	11.7	11.6
研究研修費	26,056			
資産減耗費	7,936			
(2) 医業外費用	454,439			
(うち支払利息)	25,255	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	798,035			
純損益	798,035			
累積欠損金	147,964			
経常収支比率	108.6		103.3	104.8
医業収支比率	88.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	87.3		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.0		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	3.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	105.3		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,134,188
1 固定資産	7,884,289
(1) 有形固定資産	7,791,386
(2) 無形固定資産	91,544
(3) 投資その他の資産	1,359
2 流動資産	6,249,899
(1) 現金及び預金	3,414,717
(2) 未収金及び未収収益	2,824,177
(3) 貸倒引当金()	6,127
(4) 貯蔵品	10,261
3 繰延資産	-
負債合計	7,245,087
1 固定負債	3,349,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,981,253
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,368,690
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,578,030
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	540,584
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	274,392
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	726,981
(9) 前受金及び前受収益	36,073
3 繰延収益	2,317,114
(1) 長期前受金	6,270,576
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,953,462
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,889,101
1 資本金	7,037,065
2 剰余金	-147,964
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-147,964
負債・資本合計	14,134,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	505,552	301,575
資本勘定繰入	330,511	330,511
計	836,063	632,086

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		石川県	
市町村・組合名	輪島市		
病院名	市立輪島病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	12,656 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	13	指定病院の状況	救臨感へ災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	147	59.7	66.2	68.1
療養	48	41.3	54.3	53.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	4.9	5.8	9.7
計	199	54.1	62.1	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	16.8	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	24,608	
決算規模(千円)	21,524,921	
標準財政規模(千円)	11,707,657	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	76.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,398,893			
1 経常収益	4,338,272			
(1) 医業収益	2,831,346			
(うち修正医業収益)	2,779,476			
入院収益	1,461,354			
外来収益	1,167,899			
診療収入計	2,629,253			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	202,093			
(うち他会計負担金)	51,870			
(2) 医業外収益	1,506,926			
(うち国・都道府県補助金)	1,133,799			
(うち他会計補助・負担金)	253,743			
(うち長期前受金戻入)	98,872			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	60,621			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,544,269			
2 経常費用	3,484,720			
(1) 医業費用	3,296,267			
職員給与費	1,861,561	65.7	59.4	67.0
材料費	501,896	17.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	201,452	7.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	275,261	9.7	11.8	9.4
減価償却費	222,462	7.9	8.7	10.2
経費	695,834	24.6	22.1	28.8
(うち委託料)	322,077	11.4	11.7	13.2
研究研修費	4,148			
資産減耗費	10,366			
(2) 医業外費用	188,453			
(うち支払利息)	54,115	1.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	59,549			
損益	853,552			
純損益	854,624			
累積欠損金	-			
経常収支比率	124.5		103.3	104.5
医業収支比率	85.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	84.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	115.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,351,176
1 固定資産	4,428,082
(1) 有形固定資産	4,355,844
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	72,238
2 流動資産	3,923,094
(1) 現金及び預金	2,630,910
(2) 未収金及び未収収益	1,288,059
(3) 貸倒引当金()	3,687
(4) 貯蔵品	7,812
3 繰延資産	-
負債合計	4,593,246
1 固定負債	2,398,932
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,544,918
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	846,842
(7) 一ス債務	7,172
2 流動負債	1,158,428
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	546,291
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	105,000
(6) リ一ス債務	10,758
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	479,408
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,035,886
(1) 長期前受金	3,844,665
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,808,779
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,757,930
1 資本金	2,224,606
2 剰余金	1,533,324
(1) 資本金剰余金	699,034
(2) 利益剰余金	834,290
負債・資本合計	8,351,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	481,605	305,613
資本勘定繰入	328,494	329,718
計	810,099	635,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		石川県	
市町村・組合名	珠洲市		
病院名	珠洲市総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	12,865 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	13	指定病院の状況	救臨へ災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	156	62.9	60.9	69.9
療養	-	-	-	-
結核	7	0.6	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	163	60.3	58.3	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	19.7	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	12,929	
決算規模(千円)	13,323,565	
標準財政規模(千円)	6,923,718	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.1
	将来負担比率(%)	27.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,066,154			
1 経常収益	4,065,924			
(1) 医業収益	3,388,120			
(うち修正医業収益)	3,343,638			
入院収益	1,299,709			
外来収益	1,924,672			
診療収入計	3,224,381			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	163,739			
(うち他会計負担金)	44,482			
(2) 医業外収益	677,804			
(うち国・都道府県補助金)	197,487			
(うち他会計補助・負担金)	271,447			
(うち長期前受金戻入)	163,026			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	230			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,977,681			
2 経常費用	3,974,307			
(1) 医業費用	3,745,205			
職員給与費	1,707,165	50.4	59.4	67.0
材料費	1,283,699	37.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	1,015,833	30.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	235,004	6.9	11.8	9.4
減価償却費	232,514	6.9	8.7	10.2
経費	509,882	15.0	22.1	28.8
(うち委託料)	242,192	7.1	11.7	13.2
研究研修費	4,900			
資産減耗費	7,045			
(2) 医業外費用	229,102			
(うち支払利息)	47,954	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	3,374			
損益	91,617			
純損益	88,473			
累積欠損金	368,244			
経常収支比率	102.3		103.3	104.5
医業収支比率	90.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	89.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	94.4		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,301,463
1 固定資産	4,110,130
(1) 有形固定資産	3,970,471
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	139,659
2 流動資産	2,191,333
(1) 現金及び預金	1,363,924
(2) 未収金及び未収収益	802,090
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	25,319
3 繰延資産	-
負債合計	5,066,486
1 固定負債	2,262,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,430,471
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	831,671
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	948,647
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	535,259
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	131,858
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	281,530
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,855,697
(1) 長期前受金	2,688,271
(2) 長期前受金収益化累計額()	832,574
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,234,977
1 資本金	1,603,221
2 剰余金	-368,244
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-368,244
負債・資本合計	6,301,463
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	315,929	315,929
資本勘定繰入	332,049	332,049
計	647,978	647,978

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		石川県	
市町村・組合名	加賀市		
病院名	加賀市医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,629 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 災
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	82.6	77.7	79.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	82.6	77.7	79.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.7	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	63,220	
決算規模(千円)	34,059,021	
標準財政規模(千円)	18,117,884	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	102.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,772,763			
1 経常収益	8,772,763			
(1) 医業収益	6,860,687			
(うち修正医業収益)	6,771,562			
入院収益	4,502,322			
外来収益	2,055,209			
診療収入計	6,557,531			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	303,156			
(うち他会計負担金)	89,125			
(2) 医業外収益	1,912,076			
(うち国・都道府県補助金)	780,055			
(うち他会計補助・負担金)	594,848			
(うち長期前受金戻入)	445,069			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,416,910			
2 経常費用	8,416,910			
(1) 医業費用	7,950,115			
職員給与費	4,571,169	66.6	59.4	59.0
材料費	1,444,497	21.1	26.1	25.6
(うち薬品費)	763,523	11.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	680,974	9.9	11.8	11.2
減価償却費	690,021	10.1	8.7	8.6
経費	1,220,743	17.8	22.1	21.3
(うち委託料)	722,278	10.5	11.7	11.6
研究研修費	18,376			
資産減耗費	5,309			
(2) 医業外費用	466,795			
(うち支払利息)	54,049	0.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	355,853			
純損益	355,853			
累積欠損金	949,706			
経常収支比率	104.2		103.3	104.8
医業収支比率	86.3		85.5	87.0
修正医業収支比率	85.2		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	96.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,353,872
1 固定資産	11,509,522
(1) 有形固定資産	11,090,210
(2) 無形固定資産	16,197
(3) 投資その他の資産	403,115
2 流動資産	1,844,350
(1) 現金及び預金	232,880
(2) 未収金及び未収収益	1,578,566
(3) 貸倒引当金()	2,000
(4) 貯蔵品	27,187
3 繰延資産	-
負債合計	12,752,315
1 固定負債	7,759,128
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,468,949
(2) その他の企業債	392,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,897,979
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,617,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	720,255
(2) その他の企業債	32,600
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	322,555
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	537,524
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,375,349
(1) 長期前受金	7,114,179
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,738,830
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	601,557
1 資本金	1,531,044
2 剰余金	-929,487
(1) 資本剰余金	20,219
(2) 利益剰余金	-949,706
負債・資本合計	13,353,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	656,917	683,973
資本勘定繰入	362,582	362,582
計	1,019,499	1,046,555

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	能美市				
病院名	国民健康保険能美市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,416 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	74	51.1	57.8	66.1
療養	26	-	56.7	73.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	49.9	57.5	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	17.4	22.0

設立団体の状況		
人口(人)	48,523	
決算規模(千円)	24,849,463	
標準財政規模(千円)	14,316,114	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,329,465			
1 経常収益	3,329,465			
(1) 医業収益	1,684,993			
(うち修正医業収益)	1,565,199			
入院収益	828,654			
外来収益	600,637			
診療収入計	1,429,291			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	255,702			
(うち他会計負担金)	119,794			
(2) 医業外収益	1,644,472			
(うち国・都道府県補助金)	839,305			
(うち他会計補助・負担金)	296,318			
(うち長期前受金戻入)	61,839			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,502,029			
2 経常費用	2,502,029			
(1) 医業費用	1,988,268			
職員給与費	1,133,887	67.3	59.4	67.0
材料費	238,165	14.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	125,358	7.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	99,899	5.9	11.8	9.4
減価償却費	159,984	9.5	8.7	10.2
経費	451,968	26.8	22.1	28.8
(うち委託料)	287,644	17.1	11.7	13.2
研究研修費	2,390			
資産減耗費	1,874			
(2) 医業外費用	513,761			
(うち支払利息)	7,218	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	827,436			
純損益	827,436			
累積欠損金	-			
経常収支比率	133.1		103.3	104.5
医業収支比率	84.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	116.4		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,287,581
1 固定資産	2,715,192
(1) 有形固定資産	2,626,422
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	88,770
2 流動資産	1,572,389
(1) 現金及び預金	809,132
(2) 未収金及び未収収益	754,423
(3) 貸倒引当金()	3,999
(4) 貯蔵品	12,833
3 繰延資産	-
負債合計	1,997,328
1 固定負債	475,437
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	460,837
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	14,600
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	334,900
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	151,313
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	90,631
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	83,678
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,186,991
(1) 長期前受金	2,347,519
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,160,528
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,290,253
1 資本金	1,798,369
2 剰余金	491,884
(1) 資本剰余金	49,582
(2) 利益剰余金	442,302
負債・資本合計	4,287,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	307,224	416,112
資本勘定繰入	57,366	107,366
計	364,590	523,478

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	津幡町				
病院名	公立河北中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,978 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	85.9	80.6	80.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	85.9	80.6	80.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	17.2	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	36,957	
決算規模(千円)	16,661,870	
標準財政規模(千円)	8,817,071	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	73.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,662,307			
1 経常収益	1,662,307			
(1) 医業収益	1,266,800			
(うち修正医業収益)	1,216,930			
入院収益	717,027			
外来収益	403,332			
診療収入計	1,120,359			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	146,441			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	395,507			
(うち国・都道府県補助金)	264,289			
(うち他会計補助・負担金)	90,696			
(うち長期前受金戻入)	34,692			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,344,353			
2 経常費用	1,344,353			
(1) 医業費用	1,295,418			
職員給与費	612,441	48.3	59.4	76.5
材料費	189,958	15.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	117,367	9.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	72,300	5.7	11.8	6.4
減価償却費	61,097	4.8	8.7	11.5
経費	419,313	33.1	22.1	32.6
(うち委託料)	189,956	15.0	11.7	14.8
研究研修費	2,904			
資産減耗費	9,705			
(2) 医業外費用	48,935			
(うち支払利息)	429	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	317,954			
純損益	317,954			
累積欠損金	-			
経常収支比率	123.7		103.3	101.5
医業収支比率	97.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	93.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	8.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	113.2		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,219,467
1 固定資産	966,290
(1) 有形固定資産	897,468
(2) 無形固定資産	41,788
(3) 投資その他の資産	27,034
2 流動資産	1,253,177
(1) 現金及び預金	944,105
(2) 未収金及び未収収益	305,469
(3) 貸倒引当金()	2,152
(4) 貯蔵品	5,510
3 繰延資産	-
負債合計	1,031,172
1 固定負債	300,029
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	210,082
(2) その他の企業債	47,929
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	42,018
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	330,471
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,245
(2) その他の企業債	2,071
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,264
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	254,518
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	400,672
(1) 長期前受金	1,429,182
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,028,510
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,188,295
1 資本金	218,639
2 剰余金	969,656
(1) 資本剰余金	288
(2) 利益剰余金	969,368
負債・資本合計	2,219,467
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	140,566	140,566
資本勘定繰入	12,311	12,311
計	152,877	152,877

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	志賀町				
病院名	富来病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,345 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	76.4	78.1	79.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	76.4	78.1	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	10.5	12.1

設立団体の状況	
人口(人)	18,630
決算規模(千円)	13,846,612
標準財政規模(千円)	8,311,545
財政力指数	0.55
経常収支比率(%)	92.7
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,550,396			
1 経常収益	1,471,741			
(1) 医業収益	1,226,651			
(うち修正医業収益)	1,190,357			
入院収益	807,656			
外来収益	336,660			
診療収入計	1,144,316			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	82,335			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	245,090			
(うち国・都道府県補助金)	28,151			
(うち他会計補助・負担金)	156,200			
(うち長期前受金戻入)	54,018			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	78,655			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,352,015			
2 経常費用	1,350,225			
(1) 医業費用	1,284,864			
職員給与費	647,518	52.8	59.4	76.5
材料費	162,910	13.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	63,322	5.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	83,688	6.8	11.8	6.4
減価償却費	90,973	7.4	8.7	11.5
経費	381,760	31.1	22.1	32.6
(うち委託料)	142,961	11.7	11.7	14.8
研究研修費	1,212			
資産減耗費	491			
(2) 医業外費用	65,361			
(うち支払利息)	18,401	1.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,790			
損益	121,516			
純損益	198,381			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.0		103.3	101.5
医業収支比率	95.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	92.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	12.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	94.7		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,094,098
1 固定資産	1,805,505
(1) 有形固定資産	1,728,235
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	77,270
2 流動資産	1,288,593
(1) 現金及び預金	1,084,057
(2) 未収金及び未収収益	213,089
(3) 貸倒引当金()	10,337
(4) 貯蔵品	1,784
3 繰延資産	-
負債合計	1,479,250
1 固定負債	876,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	876,041
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	309,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,627
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	43,287
(6) リ一ス債務	100
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	57,445
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	293,450
(1) 長期前受金	1,690,939
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,397,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,614,848
1 資本金	1,035,355
2 剰余金	579,493
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	579,493
負債・資本合計	3,094,098
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,494	192,494
資本勘定繰入	122,693	122,693
計	315,187	315,187

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	宝達志水町				
病院名	町立宝達志水病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,097 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	43	71.2	70.4	75.5
療養	27	92.0	88.6	95.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	79.2	77.4	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.2	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	12,121	
決算規模(千円)	8,693,611	
標準財政規模(千円)	5,277,637	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	12.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,300,997			
1 経常収益	1,300,997			
(1) 医業収益	1,019,171			
(うち修正医業収益)	981,180			
入院収益	582,938			
外来収益	338,378			
診療収入計	921,316			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	97,855			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	281,826			
(うち国・都道府県補助金)	57,352			
(うち他会計補助・負担金)	142,104			
(うち長期前受金戻入)	72,924			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,281,549			
2 経常費用	1,281,542			
(1) 医業費用	1,247,756			
職員給与費	697,316	68.4	59.4	76.5
材料費	122,557	12.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	59,487	5.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,070	6.2	11.8	6.4
減価償却費	157,226	15.4	8.7	11.5
経費	263,601	25.9	22.1	32.6
(うち委託料)	126,835	12.4	11.7	14.8
研究研修費	2,525			
資産減耗費	4,531			
(2) 医業外費用	33,786			
(うち支払利息)	2,703	0.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	7			
経常損益	19,455			
純損益	19,448			
累積欠損金	33,968			
経常収支比率	101.5		103.3	101.5
医業収支比率	81.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	78.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	13.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	87.5		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,452,537
1 固定資産	2,433,300
(1) 有形固定資産	2,173,377
(2) 無形固定資産	1,456
(3) 投資その他の資産	258,467
2 流動資産	1,019,237
(1) 現金及び預金	799,483
(2) 未収金及び未収収益	214,495
(3) 貸倒引当金()	1,235
(4) 貯蔵品	6,494
3 繰延資産	-
負債合計	2,489,123
1 固定負債	1,647,487
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,647,487
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	197,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	96,714
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,232
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,519
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	643,853
(1) 長期前受金	1,169,145
(2) 長期前受金収益化累計額()	525,292
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	963,414
1 資本金	575,291
2 剰余金	388,123
(1) 資本金剰余金	422,091
(2) 利益剰余金	-33,968
負債・資本合計	3,452,537
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	179,889	180,095
資本勘定繰入	34,813	41,817
計	214,702	221,912

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			石川県
市町村・組合名	穴水町		
病院名	公立穴水総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	13,090 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	77.7	72.5	70.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	77.7	72.5	70.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	18.2	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,890	
決算規模(千円)	7,476,559	
標準財政規模(千円)	4,298,280	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	85.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	63.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,760,952			
1 経常収益	2,760,952			
(1) 医業収益	1,990,071			
(うち修正医業収益)	1,946,989			
入院収益	1,046,882			
外来収益	832,701			
診療収入計	1,879,583			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	110,488			
(うち他会計負担金)	43,082			
(2) 医業外収益	770,881			
(うち国・都道府県補助金)	76,495			
(うち他会計補助・負担金)	238,817			
(うち長期前受金戻入)	122,499			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,459,238			
2 経常費用	2,459,238			
(1) 医業費用	2,170,614			
職員給与費	1,181,726	59.4	59.4	67.0
材料費	309,600	15.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	158,723	8.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	150,877	7.6	11.8	9.4
減価償却費	195,441	9.8	8.7	10.2
経費	481,717	24.2	22.1	28.8
(うち委託料)	293,731	14.8	11.7	13.2
研究研修費	2,130			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	288,624			
(うち支払利息)	4,468	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	301,714			
純損益	301,714			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.3		103.3	104.5
医業収支比率	91.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	89.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,417,156
1 固定資産	3,465,300
(1) 有形固定資産	2,590,070
(2) 無形固定資産	1,763
(3) 投資その他の資産	873,467
2 流動資産	1,951,856
(1) 現金及び預金	1,510,886
(2) 未収金及び未収収益	415,241
(3) 貸倒引当金()	7,766
(4) 貯蔵品	33,495
3 繰延資産	-
負債合計	1,222,720
1 固定負債	512,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	512,625
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	370,925
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	182,394
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,066
(6) リース債務	5,766
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	98,094
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	339,170
(1) 長期前受金	1,503,898
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,164,728
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,194,436
1 資本金	1,983,393
2 剰余金	2,211,043
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,211,043
負債・資本合計	5,417,156
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	281,899	281,899
資本勘定繰入	88,101	88,101
計	370,000	370,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	能登町				
病院名	公立宇出津総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,703 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	70.7	73.0	70.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	70.7	73.0	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		24.6	19.2	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	15,687	
決算規模(千円)	15,694,800	
標準財政規模(千円)	8,960,279	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	26.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,288,409			
1 経常収益	2,288,409			
(1) 医業収益	1,902,073			
(うち修正医業収益)	1,874,184			
入院収益	838,999			
外来収益	942,277			
診療収入計	1,781,276			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	120,797			
(うち他会計負担金)	27,889			
(2) 医業外収益	386,336			
(うち国・都道府県補助金)	53,241			
(うち他会計補助・負担金)	185,899			
(うち長期前受金戻入)	137,981			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,291,645			
2 経常費用	2,287,430			
(1) 医業費用	2,190,667			
職員給与費	1,001,376	52.6	59.4	67.0
材料費	425,053	22.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	235,603	12.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	169,403	8.9	11.8	9.4
減価償却費	238,355	12.5	8.7	10.2
経費	522,480	27.5	22.1	28.8
(うち委託料)	215,895	11.4	11.7	13.2
研究研修費	3,172			
資産減耗費	231			
(2) 医業外費用	96,763			
(うち支払利息)	2,980	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	4,215			
経常損益	979			
純損益	-3,236			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	86.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	85.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.7		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,330,035
1 固定資産	2,498,462
(1) 有形固定資産	2,432,283
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,179
2 流動資産	831,573
(1) 現金及び預金	418,229
(2) 未収金及び未収収益	395,681
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	17,663
3 繰延資産	-
負債合計	1,986,870
1 固定負債	1,060,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	612,201
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	442,776
(7) 一ス債務	5,806
2 流動負債	380,817
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,391
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,491
(6) リ一ス債務	9,954
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	166,730
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	545,270
(1) 長期前受金	1,975,589
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,430,319
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,343,165
1 資本金	465,590
2 剰余金	877,575
(1) 資本剰余金	167,606
(2) 利益剰余金	709,969
負債・資本合計	3,330,035
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	213,683	213,788
資本勘定繰入	63,392	71,542
計	277,075	285,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	羽咋郡市広域圏事務組合(事業会計分)				
病院名	公立羽咋病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,948 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	174	67.6	70.9	74.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	174	67.6	70.9	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.2	20.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,604,463			
1 経常収益	4,595,796			
(1) 医業収益	3,252,951			
(うち修正医業収益)	3,206,762			
入院収益	1,894,858			
外来収益	1,254,315			
診療収入計	3,149,173			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	103,778			
(うち他会計負担金)	46,189			
(2) 医業外収益	1,342,845			
(うち国・都道府県補助金)	1,043,234			
(うち他会計補助・負担金)	148,445			
(うち長期前受金戻入)	120,868			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,667			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,525,426			
2 経常費用	3,524,196			
(1) 医業費用	3,367,593			
職員給与費	1,986,789	61.1	59.4	67.0
材料費	571,344	17.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	253,393	7.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	273,942	8.4	11.8	9.4
減価償却費	243,124	7.5	8.7	10.2
経費	550,493	16.9	22.1	28.8
(うち委託料)	293,577	9.0	11.7	13.2
研究研修費	3,192			
資産減耗費	12,651			
(2) 医業外費用	156,603			
(うち支払利息)	14,062	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,230			
損益	1,071,600			
純損益	1,079,037			
累積欠損金	-			
経常収支比率	130.4		103.3	104.5
医業収支比率	96.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	95.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	4.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	124.9		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,960,291
1 固定資産	6,572,391
(1) 有形固定資産	3,458,328
(2) 無形固定資産	6,997
(3) 投資その他の資産	3,107,066
2 流動資産	4,387,900
(1) 現金及び預金	3,635,738
(2) 未収金及び未収収益	738,787
(3) 貸倒引当金()	906
(4) 貯蔵品	13,753
3 繰延資産	-
負債合計	4,311,401
1 固定負債	2,469,386
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,423,877
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,045,509
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	706,839
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,308
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,534
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	344,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,135,176
(1) 長期前受金	3,182,192
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,047,016
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,648,890
1 資本金	416,602
2 剰余金	6,232,288
(1) 資本剰余金	1,684,286
(2) 利益剰余金	4,548,002
負債・資本合計	10,960,291
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,708	194,634
資本勘定繰入	106,633	102,412
計	321,341	297,046

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	白山石川医療企業団				
病院名	公立松任石川中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,504 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	275	87.8	85.2	87.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	30	69.5	60.1	72.5
感染症	-	-	-	-
計	305	86.0	82.8	85.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.1	12.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,623,182			
1 経常収益	11,623,182			
(1) 医業収益	10,226,596			
(うち修正医業収益)	10,057,052			
入院収益	5,983,838			
外来収益	3,178,367			
診療収入計	9,162,205			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,064,391			
(うち他会計負担金)	169,544			
(2) 医業外収益	1,396,586			
(うち国・都道府県補助金)	514,561			
(うち他会計補助・負担金)	323,802			
(うち長期前受金戻入)	424,671			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,020,161			
2 経常費用	11,020,161			
(1) 医業費用	10,363,859			
職員給与費	4,380,988	42.8	59.4	59.0
材料費	2,429,744	23.8	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,054,243	10.3	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,287,849	12.6	11.8	11.2
減価償却費	973,538	9.5	8.7	8.6
経費	2,542,494	24.9	22.1	21.3
(うち委託料)	1,739,272	17.0	11.7	11.6
研究研修費	26,620			
資産減耗費	10,475			
(2) 医業外費用	656,302			
(うち支払利息)	121,166	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	603,021			
純損益	603,021			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.5		103.3	104.8
医業収支比率	98.7		85.5	87.0
修正医業収支比率	97.0		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.8		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	4.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	101.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,932,900
1 固定資産	19,594,378
(1) 有形固定資産	16,980,345
(2) 無形固定資産	893
(3) 投資その他の資産	2,613,140
2 流動資産	5,338,522
(1) 現金及び預金	2,250,411
(2) 未収金及び未収収益	3,025,303
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	62,808
3 繰延資産	-
負債合計	18,209,000
1 固定負債	11,235,669
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,235,669
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,066,551
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,176,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	396,702
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,451,056
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,906,780
(1) 長期前受金	9,926,703
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,019,923
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,723,900
1 資本金	691,610
2 剰余金	6,032,290
(1) 資本剰余金	4,026,496
(2) 利益剰余金	2,005,794
負債・資本合計	24,932,900
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	451,086	493,346
資本勘定繰入	501,484	501,484
計	952,570	994,830

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		石川県	
市町村・組合名	白山石川医療企業団		
病院名	公立つるぎ病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	11,634 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	152	83.2	85.1	88.3
療養	-	-	-	93.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	152	83.2	85.1	89.3
平均在院日数(一般病床のみ)		29.3	31.9	22.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,197,215			
1 経常収益	3,197,215			
(1) 医業収益	2,762,503			
(うち修正医業収益)	2,670,251			
入院収益	1,678,416			
外来収益	746,813			
診療収入計	2,425,229			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	337,274			
(うち他会計負担金)	92,252			
(2) 医業外収益	434,712			
(うち国・都道府県補助金)	163,225			
(うち他会計補助・負担金)	184,095			
(うち長期前受金戻入)	55,466			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,212,571			
2 経常費用	3,212,571			
(1) 医業費用	3,049,654			
職員給与費	1,557,300	56.4	59.4	67.0
材料費	356,051	12.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	144,581	5.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	175,702	6.4	11.8	9.4
減価償却費	196,156	7.1	8.7	10.2
経費	930,512	33.7	22.1	28.8
(うち委託料)	594,133	21.5	11.7	13.2
研究研修費	9,635			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	162,917			
(うち支払利息)	33,276	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	99.5		103.3	104.5
医業収支比率	90.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	87.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.9		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,932,900
1 固定資産	19,594,378
(1) 有形固定資産	16,980,345
(2) 無形固定資産	893
(3) 投資その他の資産	2,613,140
2 流動資産	5,338,522
(1) 現金及び預金	2,250,411
(2) 未収金及び未収収益	3,025,303
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	62,808
3 繰延資産	-
負債合計	18,209,000
1 固定負債	11,235,669
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,235,669
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,451,056
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	3,066,551
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,176,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	396,702
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,451,056
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,906,780
(1) 長期前受金	9,926,703
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,019,923
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,723,900
1 資本金	691,610
2 剰余金	6,032,290
(1) 資本金剰余金	4,026,496
(2) 利益剰余金	2,005,794
負債・資本合計	24,932,900
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	266,107	276,347
資本勘定繰入	156,242	156,242
計	422,349	432,589

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。